

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 22 日

事業所名: のぞみ牧場学園

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	工夫している点、課題	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	5	1		・1クラスの在籍数が多いと 感じることもある。	・年度により在籍数が異なり、1クラスの人 数が多くなることもあるが、基準の範囲 内。
	2 職員配置数は適切であるか	5	1		・職員の休みがあった場合は、 配置を変更するなどしている。 ・足りているが、保護者から療 育スタッフが少ないとの声もあ るため、次年度改善したい。 ・行事などの際に人手が足りな いと感じることがある。 ・通園、デイサービスと兼務し ているスタッフが多く忙しく感じ る。	・常に職員の配置の基準は満たしてい るが、今後も十分な支援が行えるよう可能な 限り体制を整える。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化さ れた環境になっているか。また、障害の特性 に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化 や情報伝達等への配慮が適切になされてい るか	6			・名前マークの使用や絵カー ド、スケジュールカードの活 用、また掲示物は必要最低限 のみにして落ち着ける環境、わ かりやすい環境作りを行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	6			・空気清浄機を入れて環境に 配慮している。 ・クラス内の換気も心がけ、毎 日の清掃をしっかりと行ってい る。 ・さらに清潔にで きると良い。	・園児の使用するものについては消毒を 実施しているが、今後も感染症拡大防止 に十分注意していきたい。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい るか	6				
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対 して事業所の評価を実施するとともに、保護者 等の意向等を把握し、業務改善につなげてい るか	6				
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価 表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を 行うとともに、その結果による支援の質の評 価及び改善の内容を、事業所の会報やホーム ページ等で公開しているか	5	1		・公開されている場所がわ かりにくい。	・ホームページ上の公開場所を変更した。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか	6				
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	6			・ケースカンファレンス、職 員間での研修を行ってい る。	
適切	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童 発達支援計画を作成しているか	6			・各職種の視点からアセスマ ントを行い支援計画書を作成して いる。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	6				
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」 の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、 「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容か ら子どもの支援に必要な項目が適切に選択 され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れている	6				
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われて いるか	6			・毎日スタッフ間でこどもの話を し、より良い保育療育指導のため、 反省、改善が行われる。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行ってい るか	6			・様々な職種が立案に関わる。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	工夫している点、課題	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・常に新しいことを取り入れる努力をしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6				
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・その日の活動や職員の配置について確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			・園児が登園する前や後にもクラス・スタッフ間で話し合いをしている。 ・気づいた点を共有し、改善につなげ、その後の支援に生かせるようにしている。 ・支援の振り返りを行い記録している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	6				
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6				
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			・情報共有として引継ぎ書を作成し、送付している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			・支援計画書の作成、電話や対面による引継ぎを実施。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	・コロナの為中止になった。 ・保育園や幼稚園に通っている子どもたちと関わりを持つ機会があると良い。	・今後もコロナの感染拡大状況を見ながら、園外の保育園児との交流を得る機会を検討していく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6				
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・連絡帳の他、必要に応じて電話連絡をしている。 ・年3回の面談、必要に応じた電話対応や面談の追加をする。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6			・保護者会において支援していたが、今後は別の形で支援していく。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	工夫している点、課題	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・入園説明会等で説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6			・面談の中で支援計画について説明し、同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・連絡帳、電話でのやりとり、面談等で助言を行っているが、今後も保護者の悩みに適切に対応していくべき。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		・保護者会で支援していたつもりだが、十分では無かった。 ・保護者会は無くなるが懇談会を増やし支援していく。	・次年度は保護者会を中止するが、かわりに頻回のクラス懇談会を実施、その中で保護者の支援が十分に行えるよう配慮する。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・数人に意見を聞き、ベストな対応を検討している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・毎月園だよりを発行している。 ・ホームページ、SNSを利用して情報発信を行っている	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6				
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・マカトンサイン、絵カードの活用など、AACに力を入れている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		2	・コロナのためイベントは中止。	・次年度は感染拡大の状況を見ながら、地域向けのイベントも実施していく。
	非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		6			・月に一度災害を想定した訓練を実施している。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		6				
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6			・給食室や保護者と連携が取れていた。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		6				
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		6				
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		4		2	・身体拘束を行っていないが、今後やむを得ず身体拘束を必要とするケースがでてきたら、支援計画書への記載、保護者への説明を徹底する。 ・虐待の研修の中で話し合いをし、対応する。	・現在身体拘束を行った事例は皆無のため、子どもや保護者への説明、児童発達支援計画への記載は行っていない。今後、新たにそのような事例が出た場合には速やかに行う。